

# THE GOLD

[海外特集]

## 心を解きほぐす島 プークェット

[国内特集]

函館 進化するノスタルジックタウン

[趣味のある休日]

ダイビングで神秘の海へ



世界にひとつ。  
あなたにひとつ。

## 鰻の美味しい季節はいつ？

やなぎさわとしお  
柳澤寿男さんという、下諏訪出身の指揮者がいます。

単身旧ユーゴスラビアの各国を渡り歩き「音楽に国境は無い」との信念のもと、敵対している国々の音楽家達を集めて『バルカン室内管弦楽団』を組織した、夢見るマエストロ。つい先日東京でこのオーケストラの来日公演があり、熱いタクトを振られ（僕も4年前に続いて司会を担当し）ました。彼は食に関して情熱的で、第一次世界大戦が始まってちょうど百年にあたる一昨年の秋、一緒にバルカン半島を旅している間にも「辰巳さんを是非お連れしたい凄く美味しい鰻屋さんがあるんです！」といった具合に誘ってくる。その絶品の鰻を、漸く味わいました。

長野県岡谷市の市街地から車で約15分、諏訪湖から流れ出した天竜川の左岸に建つ『観光荘』。かなり大きく、ドライブインといった風情です。創業は昭和29年。元々近くに築場やなばがあり、漁期には築にかかった夥おびただしい数の天然ものの鰻が、まるで素麺のように見えたほどだったとか。築師さんがその場で背開きにして焼くので、当然ながら蒸すという手間はかけません。ところが、昭和48年の台風によって川が氾濫。翌年の護岸工事に伴い、築は撤去されてしまいます。往時の白黒写真が壁に飾られ、少し感傷的に。しかし、築は無くともお店は元氣。今は

やっぱり

食いしん坊な

歳時記

文・辰巳琢郎



養殖ものとは言え、炭火で直焼きされた鰻は、外側がカリツとしながら脂もしっかり乗った、また立ち寄りたくなる味わいでした。

天然鰻と言うと、まず思い出すのは『竹染』という寿司割烹。同じ天竜川の下流、徳川家康が武田信玄・勝頼親子と争った二俣城址の近くにありますが、現在は浜松市に編入されましたが、河口から30キロ以上遡った辺りの曲がりくねった川に罟を仕掛け、最盛期には大将一人で年間一万数千匹捌いていたとのこと。天竜川水系のダムが次々に出来たからでしょうか、今では一年に150匹ぐらいに激減してしまっただろうです。天然ものは、大きさも味も個体によって大きく違います。その時はまさに大当たり。あの噛み応えと滋味、そして切れ上がりの良い脂の広がり、20数年経っても忘れられません。

一緒にたにされることが多いので整理しましょう。鰻は鮭と生育パターンが反対です。鮭は、海を回遊したあと産卵の為に川を遡上するのに対し、鰻の方は、稚魚のシラスウナギの形で川に戻り、何年かして大きくなってから産卵しに海に出ていきます。謎に包まれたニホンウナギの生態。日本から2千キロ以上も離れたマリアナ海溝付近が、その産卵場所と推定されていると聞きました。親が住んでいた川を目指し長い旅をして来たシラスウナギを河口近くで捕獲し、肥育するという、現在は言わば半養殖。まだまだ完全養殖するには時間が掛かりそうです。

やっばり  
食いしん坊な  
歳時記



絶滅危惧種に指定されて、何となく食べるのを遠慮しがちになってしまった鰻。一方では、生命力が強く繁殖力も強いこの魚は、決して絶滅しないという、心強い説も散見されます。ただ問題は、世界全体の70パーセント以上を日本人が消費しているという事実。各国が競って寿司を食べ始めた如く、蒲焼きが好まれるようになったら果たしてどうなるのか？ それこそ鮪の養殖に続く近畿大学の「鰻味の鮎なまき」の出番かもしれません。何せキャッチフレーズが秀逸。「ナマズの人気がウナギのぼりです」。

やはり鰻だけに、とりとめのないとか掴み所の無い話になってしまいました。最後に大切なことを。陰陽五行説を暦に合体させた関係で、実は土用というのは、春夏秋冬の変わり目にそれぞれ約18日間あります。そして信頼すべき筋によると、鰻が一番美味しいのは、立春直前の土用だということなのです。俳句の世界でも鰻は夏の季語ですし、今更言われても困りますよねえ。ことの始まりは、夏場に鰻を売る為の平賀源内のアイデアだそう。後世まで影響を残すのが本当の天才なのかもしれない。

辰巳琢郎 たつみたくろう

俳優。1958年生まれ。京都大学在学中に「劇団そとばこまち」を主宰し、80年代前半の学生演劇ブームの立役者となる。卒業と同時にNHK朝の連続テレビ小説「ロマンス」でデビュー。以来、知性・品格・遊び心と三拍子揃った俳優として活躍中。テレビ、映画、舞台、CMのほか、クラシックコンサート、司会や演出、執筆活動などに多忙な毎日。食通、ワイン通としても知られ、「日本ワインを愛する会」副会長、日本ソムリエ協会名誉ソムリエなどに就任。観光庁アドバイザーも務める。食いだれの街、大阪出身。NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」の眉山栄達役が記憶に新しい。